



No.7
令和6年
12月議会

大垣市議会議員

本田ゆみこ 市政報告

「子育て」と「福祉」を中心に5件質問しました。

子育て支援条例の改正について(質問要旨)

子どもの権利の明確化についての進捗状況についてと子どもの権利保障の気運の醸成について伺います。

【提言】

子どもたちの当事者意識の醸成のために大垣市全ての学校で子どもの権利を学ぶ授業を要望

子どもの権利のことであるから、当然当事者である子どもの声を十分に聴くということが大切だね。本巣市では、すべての学校で子どもの権利を学んだ後、全ての子どもが子どもの権利条例に入りたい権利を考えて書いたよ。



答 弁

- 8月及び11月に子育て支援会議にて条例改正に関する意見を聞いて改正案に17項目規定しました。今後パブリックコメントを実施し、令和7年度4月に施行していきます。
- 11月大垣市ストリートフェスティバルやOut ofキッズニアinおおがきにおいてパネル展示、市HP、広報おおがきにて周知を行いました。施行後も媒体を通して子どもの権利保障の気運醸成に努めていきます。

特別な配慮を必要とする子ども達への支援について(質問要旨)

児童生徒の数は減少していますが、特別な配慮を必要とする児童生徒の数は増加しています。

本市の学校教育における取組についてと支援員・介助員の育成について、大垣市のお考えをお聞かせください。

答 弁

- 令和6年度現在特別支援学級在籍513人、通級指導教室利用765人の児童生徒に対し、指導主事と特別支援教育推進専門員による子どもの実態把握や助言、保護者相談をしています。
- 介助員28人、支援員40人配置しています。育成については、ひとりひとりに合う支援のあり方について発達支援専門家による研修をしています。すべての教員に対しては、校内研修を行っています。
- 令和7年度より特別支援教育推進チームを設置予定、支援体制を構築していきます。

飛騨市では、すべての学校に学校作業療法室を設置し、作業療法士が現場で活躍し支援を必要としている子ども達に良い変化が起きているよ。大垣市でも子どもにとって最善の利益に繋がる支援体制の一つとして作業療法士が現場で活躍できるとよいのでは?



学校屋内運動場エアコンを2年間で設置について(質問要旨)

- ①設計の民間委託について
- ②設計・工事・監理のブロックごとの入札・発注をしてはどうか。
- ③エアコン本体の一括発注をしてはどうか。
- ④教育委員会と各学校との密接連絡調整
- ⑤緊急防災・減災事業債の2年間で全額申請
- ⑥緊急防災・減災事業債が利用できなければ負担増になるのではないか。
- ⑦西部中の屋内運動場の改築工事を令和7年度に前倒して、エアコンも一緒に設置してはどうか。

答 弁

- 計画的に進めていきます。江東小を除く小学校について令和7、8年度、西部中を除く中学校について令和9年度、体育館改築に合わせて令和10年度に西部中に設置する計画です。
- 事業債については、再延長や恒久化をするように国への要望活動をしています。

特別養護老人ホームの入所基準について(質問要旨)

特養入所基準は原則介護度3以上だが、介護度が1, 2であっても一人暮らし、認知症の人ということになっています。本来は、誰でも入れるべきではないですか。限定しているなら条例をつくる必要があるのではないですか。

答 弁

- 原則3以上が対象となっています。3以上でなくても様々な事情により入所の必要性の高いと判断される場合は対象となります。大垣市でも優先度の高い方が入所できるように努めています。法令や県の指針があるため、条例で規定する必要はないと認識しています。

介護職員の人員確保について(質問要旨)

介護職は、介護報酬の低さや休みにくさから働き手からは敬遠される職種と言えますが、必要な職種であります。

本市の人材確保支援に対する考え方について、本市独自の事業についてお尋ねします。提言として、家賃補助、交通費補助、奨学金返済補助、介護職に就く人のお子さんの保育園優先入所、事業実施支度金、介護職員宿舎建設の補助金を出してはどうですか。

答 弁

- 介護職新規就労者奨励金の交付を実施しています。今年度、若年層については奨励金対象者を拡充しました。
- 介護ロボットなどを使って生産性向上している事例紹介の勉強会、現場を知ってもらえるように介護職と若い世代との座談会を実施しました。

10月~12月の主な活動報告

▼行政視察

電子マネーを活用した取組み、文化・体育施設の設計と運営について学びました。



市長要望▶
市民ネットワークとして
予算要望を提出しました。



▲市民ネットワーク勉強会
鏡諭先生から介護保険について学びました。



Yumiko's Voice

2024年の締めくくりの時期になりました。今年は今回の質問も含め18件の質問をしてきました!

子育て世代の1人として教育に対して関心があります。本巣市での子どもの手によって創り上げる「子どもの権利条例」制定のチャレンジは子どもにとって大きな財産になるのではないかと思います。子ども自身が自分で望んでいる社会のルールをつくることを通して、社会をつくるのは自分だと思ふ当事者意識が育つチャレンジだと感じます。こういったチャレンジを積み重ねていくことが大切だと思います。

12月定例会 一般質問は
こちらからご覧ください



本田ゆみこ
事務所
自宅事務所

〒503-0824 大垣市旭町1丁目5番地
TEL 71-8677 FAX 75-2455
〒503-0831 大垣市新長沢町1丁目26番地1

ホームページはこちら



Eメールはこちら

